

## 「JENESYS2024」日本青年教育関係者訪中団の記録

### 1. プログラム概要

【目的】本事業は、2024年10月27日（日）～11月2日（土）の日程で、中国日本友好協会の招待により、日本の教育関係者を中国に派遣し、中国で各種教育機関を訪問・視察し、中国の教育関係者と交流を図るほか、政治、歴史、経済、文化などに関する参観を通じて総合的な対中理解を深めることにより、日中教育関係者の相互理解促進、教育を通じた日中青少年の相手国への理解促進を目的として実施しました。

【参加者】日本の教育関係者等 45名

【訪問地】北京市、山東省済南市、山東省曲阜市、上海市

#### 【日程】

##### ■ プレプログラム

2024年10月18日（金） オンライン事前オリエンテーション

##### ■ 派遣プログラム

2024年10月27日（日）～11月2日（土）6泊7日

10月27日（日） 北京首都国際空港より中国入国

10月28日（月） 【訪問・交流】在中国日本国大使館

【訪問・体験】中国宋慶齡青少年科技文化交流センター

【夕食交流会】

10月29日（火） 【訪問・交流】北京市陳経綸中学（高等部）

【交流】日中教育関係者座談会・交流夕食会

（中国教育関係者代表団フォローアップ）

10月30日（水） 山東省済南市へ移動

【訪問・交流】済南外国語学校

【視察・体験】山東手造展示体験センター

10月31日（木） 山東省曲阜市へ移動

【視察・体験】曲阜師範大学教師博物館

【訪問・交流】曲阜師範大学附属小中学校

【交流】日中教師杏壇会（座談会）

【歓送報告会】訪中成果・帰国後の活動計画発表

11月1日（金） 【視察】孔子府・孔子廟

上海市へ移動

11月2日（土） 上海浦東国際空港より中国出国

## 2. 記録写真



10月29日【訪問・交流】  
北京市陳經綸中学（高等部）



10月29日【交流】  
日中教育関係者座談会



10月30日【訪問・交流】  
济南外国語学校



10月31日【視察・体験】  
曲阜師範大学教師博物館



10月31日【訪問・交流】  
曲阜師範大学附属小中学校



11月1日【視察】  
孔子府・孔子廟

### 3. 参加者の感想（抜粋）

◆中国での学校訪問をさせていただき、先生方や生徒の皆さんの真摯な姿勢に深い感銘を受けました。グラウンドなどの校内の設備に圧倒されましたが、それだけではなく随所に温かみを感じられ、生徒一人ひとりの学びや成長を大切にされていることがひしひしと伝わってまいりました。全体の場での交流会では、高いレベルでの日中の教育についての質問と質問に対する答えがあり、どちらも私にとって大きな学びになりました。座談会での交流では日中両国の教育システムの違いに驚きながらも、日本で取り入れたいところは今後たくさん取り入れていきたいと思います。

◆今回日本青年教育関係者訪中団の一員として参加できたことは、私の人生において大きな財産です。また忘れられない「経験」や「お言葉」をたくさんいただきました。本当に感謝しております。

最も感銘を受けたのは、全聚徳での中国側の代表あいさつで「最も美しい景色は人である」とのお言葉です。これまで、私にとっての美しい景色とは、自然の風景や文化的建造物等のことでした。それが「人」というのは、目から鱗、概念が覆るお言葉でした。そのお言葉を聞いて、中国の先生方や生徒の皆さん、日本中から集まった先生方等、「人」が「人」のために行動する姿を目に焼き付けようと、決意したところでした。

日中教育関係者座談会では、「生徒のメンタルヘルス」について、参加させていただきました。日中の先生方が、子供の健やかな未来を願う思いは同じなのだたと認識したところです。日本と中国は、親和性も高いと思うので、お互いの教育について学び合い、良いところは、取り入れることも必要だと感じました。

◆中国における教育（教師）の尊重、また教師自身の誇りと自信溢れる姿に、刺激をいただきました。日本ではメディアやSNSの影響もあり、「教員の質の低下」「学校のブラックな働き方」等学校に対してネガティブな世論が強くなってきています。当事者である私自身も、つい不満を漏らしてしまうことが多々ありました。しかし今回、一度勤務校を離れて各視察先を訪れる中で、自分の考えを改める機会を頂けました。教育は次世代を担う若者を育てる、つまり社会の基礎をつくることに繋がる、大変意義深いものです。教師は児童生徒を導く者として日々研鑽し、自分の仕事に誇りと自信を持って、振る舞えば良いのです。何より、堂々と振る舞う先生の姿が、生徒に対して向上心や学習の動機を与えることにも繋がるでしょう。自分の働き方、仕事に向かう姿勢を改めるよう、モチベーションを頂くことができました。

◆今回の視察を通して、中国と日本の文化の結び付きをより強く感じる事が出来た。実際に自分の目で、肌で、中国の文化を実感できたことは何よりの収穫だった。また、中国の教育関係者と交流出来たことも大きな収穫だった。特に、同じ業種の教諭との交流が心に残っている。学校の規模や校時表、勤務状況、保護者との関係は日本と大きく異なっており、大変興味深かった。その一方で、子どものよりよい未来をつくるために働いているという点は中国も日本も変わらなかった。同じ目標を目指し、切磋琢磨していきたいと強く感じた。また、交流することの重要性も再認識できたので、今後も様々な立場の教育関係者との関係を築いていきたい。

この訪中前は、中国に対してマイナスイメージが大きかったが、今回の訪中を通して、中国の方々のあたたかい人間性に触れ、プラスイメージが大きくなった。中国に対する興味も強くなり、さらに知りたくなった。今後も、中国と積極的に関わり、理解を深めていきたい。また、今回の訪中で感じたことや学んだことを、身近な人、特に未来を担う子どもたちに、還元していきたいと思う。

#### 4. 参加者の対外発信、報道記事（抜粋）、等

先日、「日本青年教育関係者訪中団」として1週間中国へ行ってきました！🇨🇳

日中のたくさんの先生方と交流したり、中国の歴史や文化を学んだりと人生で最も充実した1週間になりました！🍊

「百聞は一見にしかず」を実感！！

この訪中で得たことを、生徒や同僚、家族などに伝えていきます！📺



現地の中日友好協会のアテンドで北京市や山東省の重点学校という最先端の教育現場を視察し意見交換を行いました。

教育内容、教師研修など学ぶべき点がたくさんあり今後に生かしていきたいと感じました。

企画運営をしてくださった中日友好協会、日中友好会館を始めとする全ての関係者様に感謝の意を表したいと思います。

そしてこのJENESYSという対外友好事業の今後更なる発展をお祈りします。

#### 団員の SNS

#### 団員の SNS




2024年11月1日（北京陳静潤中学校 HP）  
 「日本の若手教育者代表団が北京陳静潤中学校を訪問」  
 学校歴史資料館の視察の様子や団員の感想などが紹介されました。

2024年11月1日（曲阜師範大学 HP）  
 「日本の青少年教育者代表団が中外青少年交流拠点を訪問」  
 教師博物館を視察、伝統文化を興味深く体験したこと等が紹介されました。

## 5. 報告会での訪中成果とアクション・プラン発表



### 【訪中中の学び】

今回訪問させていただいたすべての学校において、生徒および先生方双方のモチベーションの高さと、明るい顔で授業に向かう姿勢がとても印象的でした。

### 【アクション・プラン】

本校の生徒と中国の学校とのオンライン交流事業ができないかと考えております。加えて、自分自身も中国語の勉強を続けたいと思います。

### 【訪中中の学び】

今回の研修を通して、古来から日本と深い交流のある中国についてたくさんの学びを得ると同時に、多様な価値観や生活習慣に触れることができました。

### 【アクション・プラン】

1つ目は、11月末までに研修成果を集約した資料を作成し、社会科の授業において、子どもたちの、多文化共生意識を高めることです。2つ目は、私自身が社会科の教諭として、中国に関する正確な知識を得て、地理の授業の質の向上に努めていきます。

実施団体名：(公財) 日中友好会館